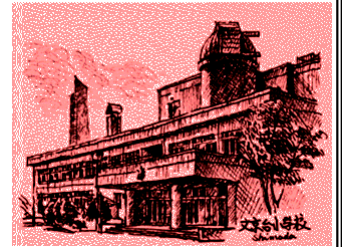


記念塔

江別市立文京台小学校
学校だより No. 10
令和6年11月25日(月)
TEL 386-7700
FAX 386-7710



【大麻中学校区 めざす子ども像】
ともに支え合い 夢や可能性に向かって
たくましく生きる子ども

【文京台小学校 重点目標】
「なりたい自分」を描き、他と共に高め合う文京台の子
～子ども一人一人を主語とする文京台の教職員～

❄️冬将軍到来 見えない猛者と戦うために

校長 田中 美由紀

朝起きると、目の前は真っ白な世界へと変わっていました。大人は少々がっかりするその世界の変容に、子どもたちはウキウキしながらはしゃいで登校してきます。手に小さな雪だるまを持って登校してきた1年生が、教室に持ち込めないことがわかると、ちょっぴり名残惜しそうな表情をしながら玄関脇に置きました。その姿がなんとも微笑ましく、子どもたちが帰るまでどうか雪だるまが溶けないでほしいと願いました。いよいよ本格的な冬が到来します。

冬になると、コロナ禍で様々な制限があったことがつい昨日のこのように思い出されます。教育活動や日常生活が平常に戻ってしばらく経ちましたが、「普通」であることの素晴らしさを改めて感じています。ここ最近では気温が低くなり、他校から学級閉鎖の声が聞かれるようになりました。学校は集団で活動する場所ですから、これからは、子どもたちが健康で安全な生活を送ることができるよう、なお一層、感染症の予防に努めてまいります。

学校では登校後、日常的に担任による健康観察を実施し、子どもたちの体調に変化がないかを確認しています。また、日常の生活の中で、手洗いの励行や換気に努めています。インフルエンザウイルスは湿度の高い環境に弱いといわれているので、今後、感染症の予防と感染拡大防止のために、乾燥を防ぐための濡れタオルを教室にかけたり、加湿器を稼働させたりする予定です。

今年は、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの他に、マイコプラズマ肺炎の流行も報道で耳にするようになりました。マイコプラズマ肺炎は、原因となる「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染して2～3週間の潜伏期間を経た後に、発熱、だるさ、頭痛など一般的な“風邪症状”が現れるのが特徴です。咳などの症状は発症後3～5日ほど経ってから現れることが多いともいわれています。また、発熱などの全身症状は通常数日で改善しますが、咳のみが1か月ほど続くのも特徴のひとつとされています。マイコプラズマ肺炎は、一般的な風邪症状から始まるため、診断されるまでに時間がかかることもあるようです。市内でも罹患者が増えているようですから、今後も注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症は、時に死に至る場合もあり、正しい理解と対処が必要なことはいうまでもありません。しかし、相手は目に見えないため、完全に防ぐことが難しい存在でもあります。ウイルスの身体への侵入は、飛沫感染や、ウイルスが付着した物を触った手で鼻や口の粘膜に触れることから始まるといわれています。手洗いが有効だといわれるのはそのためです。

学校で感染症が一定の割合を超えた場合、集団感染を防ぐために、学校医と相談の上、学級閉鎖や学校閉鎖となります。朝、調子が悪い時は、無理して登校せずに休養する判断をすることも、これから必要になってくると思います。詳しくはこれから発行される保健だよりをご覧ください。子どもの十分な睡眠と栄養補給、手洗いや換気の習慣化に、ご家庭でもご協力をお願いいたします。